

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/09/14号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



100ドル台まで急伸、中東の軍事紛争が激化

NY原油先物相場は、1バレル=100ドル台まで急伸する展開になった。中東各地で軍事衝突が発生したことで、供給不安の織り込みが進む展開が続いた。ホルムズ海峡付近では米国とイランが船舶などに対する攻撃を続ける一方、イエメン武装組織フーシ派が紅海のバブ・エル・マンデブ海峡の掌握を目指して軍事侵攻を続けている。サウジアラビアの東西パイプラインが、イランからの攻撃を受けて稼働を停止するなど、中東全体で混乱が続いている。

軍事的な緊張感が高まる中、中東からの原油供給への影響がさらに拡大するリスクが高まっている。トランプ米大統領は、イランとの戦闘が11月の中間選挙直後に終結するとの見通しを示すなど、戦闘状態の長期化も警戒されている。特にフーシ派がサウジアラビアに対する攻勢を強めていることは、紅海側からの原油輸出にも大きな混乱をもたらす可能性が高く、原油相場の上昇ペースを加速させた。一時は5月19日以来の高値となる104.46ドルまで値上がりした。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（9月4日時点）は、原油が前週比39万バレル減、ガソリンが127万バレル増、石油精製品が209万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

中東情勢次第に、軍事衝突中は一段高のリスク

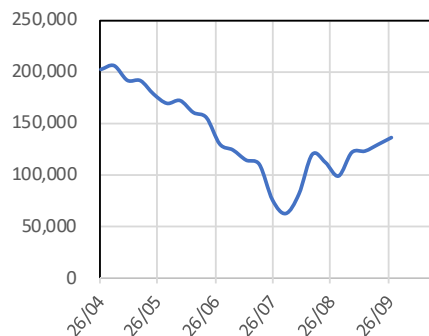
中東の軍事的な緊張感がいつまで続くのかに依存する、不安定な地合が続く。前週に続いて中東各地で激しい戦闘が報告されると、100ドル台定着からさらに105ドルの節目突破を試す可能性がある。特にタンカーに対する攻撃激化、サウジアラビアの石油関連施設への攻撃による大規模な被害発生といった動きがみられると、上昇ペースが加速する可能性がある。軍事的な緊張感がさらに高まるのか、終息に向かうのか、手探りの相場環境が続きやすい。

米国ではディーゼル燃料価格が初めて1ガロン=6ドル台に乗せた。原油よりも石油製品の需給が著しくひっ迫している。ディーゼルや灯油など中間留分の価格高騰が加速しやすくなっているため、原油相場がつれ高する可能性には注意が求められる。

一方、英紙フィナンシャル・タイムズ（FT）は、9月14日に湾岸諸国とイランが外相級協議を行う予定と報じている。イランとオマーンの間ではホルムズ海峡の暫定航路などを巡る協議が最終局面に差し掛かっており、湾岸諸国からの支持を取り付けのための協議になるとみられている。実際に協議が開催されるのかは不透明だが、ホルムズ海峡のタンカー通航環境の改善につながる動きがみられると、調整売りで90ドル台中盤まで軟化する可能性がある。

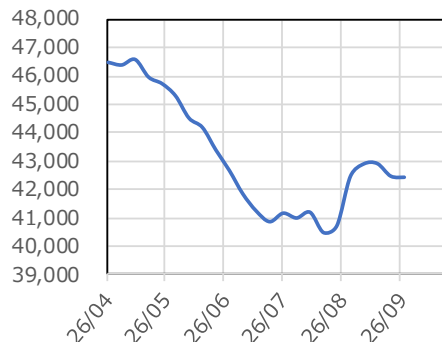
また、原油高によるインフレ懸念の高まりを受けて、米長短金利が急伸していることにも注意が必要だ。米10年債利回りは5.0%に迫っている。さらに金利急伸や株価急落といった動きがみられた際には、トランプ米政権が柔軟姿勢に転じ、いわゆる「TACO（トランプはいつも尻込みする）」トレードが再燃し、原油相場は反落に転じる可能性もある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



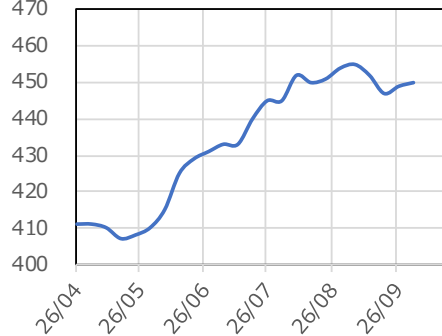
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

